

第46回北区区政会議(R6.11.25)における意見への対応状況

〔資料4〕

番号	委員名	担当課	意見	区政会議答弁	対応方針 (事後対応内容)	分類※
1	笠井委員	地域課	将来ビジョンについて、単身者も含めて北区の全ての方々に居場所ができ、担い手が育成される状態を具体的に考えていると思うので、そのあたりをお聞かせいただきたい。	まずは、担い手の発掘が必要だと思っている。昨年度、地域活動協議会の会長が集まる会議において、地域で工夫されている取り組みを、単身者や若い家族や子ども連れの参加が期待できるものも含め好事例を集め、情報を共有した。引き続き、好事例の共有を進め、担い手の発掘と活動の継続につながるよう検討していきたい。	同左	①
2	二口委員	地域課	将来ビジョンに、昼間の災害発生に備え、企業・学校等と連携を進めるとある。平日の昼間に大災害が発生した場合、学童は学校に退避し、地域住民もそこに集まる。しかし、勤めている方を想定した訓練は実施していない。小学校や中学校では避難所開設訓練を行っているが、そのような想定での訓練は実施していない。今後、行政からアイデアを得て実行に移したいと考えているので、ぜひ提案をお願いしたい。	北区内には多くの企業が存在し、区役所として個別に声をかけることは難しいが、防災パートナーとして協力を申し出ている企業等に働きかけながら、平日昼間に大災害が発生した際の準備を進めることが重要である。また、地域の方で近隣企業との連携ができそうな場合には、区役所に情報を共有いただければ、どのようなプログラムを実施すべきか共に考えていきたい。	同左	②
3	渡島委員	地域課	来年、路上喫煙に対し1人1回1,000円の罰金が科せられるという話があるが、繁華街においては、たばこのポイ捨てが問題となっている。喫煙場所は用意されているが、捨てる場所が問題である。これに対して来年どのように対処されるのか疑問に思う。1,000円の料料についても大々的に周知した方が良いのではないか。また、飲酒運転での自転車利用についても、さらなる周知が必要であると考ええる。	路上喫煙対策について、企業や団体の協力により、140か所以上の喫煙所が設置される見込みである。取締りはパトロール隊を編成し進める予定であり、路上喫煙は全て禁止が原則となる。しかし、ポイ捨ての問題は依然としてあるため、周知徹底が必要であると考えている。自転車の飲酒運転についても、警察と協力しながら引き続き啓発活動を行っていく。	同左	①
4	島村委員	地域課	「北区将来ビジョン2025～2034(素案)」の策定・運用においては、「水害」や「上町断層による直下型地震」に対する防災対策を行うとともに、発生する可能性が高まっている「南海トラフ巨大地震」の対策に特に意識して取り組んでいただきたい。	一番被害想定が大きいと捉えているのは南海トラフ巨大地震である。今後、内閣府が行う検討会などにに基づき、大阪府において被害想定の見直しが進められると聞いている。これらの情報を確実に収集し、日常の備えに活かしていく対策を検討していきたい。	同左	②
5	木下委員	地域課	地域では、医療系の専門学校や看護学校の生徒がボランティアとして活動に参加しており、高齢者との交流によって双方にとって良い効果が見られている。学校との協力が実現していることは大きな意義がある。企業や学校との協力が進んでいることは、地域にとって助けとなっており、次世代を担う人材を育成するための取り組みを進めていくことが重要であると考ええる。	各地域ですで行われている専門学校等との接点を持つ活動をどのように広げていくか考えていく必要がある。北区には多くの専門学校が存在しており、これらの学校との接点を増やし、マッチングの機会を増やすことが必要と感じた。ファッションショーや演劇など、さまざまな切り口での取り組みが可能であり、アイデアを出し合いながら検討していきたい。	同左	②
6	高垣委員	福祉課	民生委員として、地域の独り暮らしの70歳以上の生活実態を把握する調査を行うが、民生委員にとっては厳しい業務である。しかし、南海トラフ巨大地震のような災害時を考慮すると、そうした情報を知っておくことは重要であると考ええる。地域福祉計画に、情報を必要としている方に適切に届けるとあったが、区役所からそういった情報を教えてもらうことはできないのか。	個人の非常にセンシティブな情報もあるので、区役所から情報提供することは慎重になるべきだと考えている。社会福祉協議会に作成を依頼している要支援者名簿は同意があれば民生委員等に提供させていただいているので見守りに繋がってほしい。地域福祉計画の趣旨としては、待ちの姿勢ではなくアウトリーチ型の支援を推進し、必要な情報を適切に届けることをめざしている。支援が必要な方を一人ひとり丁寧に支援し、民生委員や地域防災の活動者等と連携し、双方向での情報発信を第3期計画の重要な位置づけとして継続していきたい。	同左	②

番号	委員名	担当課	意見	区政会議答弁	対応方針 (事後対応内容)	分類※
7	西野委員	地域課	自転車の利用が非常に難しい世の中になっており、車道を走っていても特に子どもを乗せての移動が危険であると感じる。一方で、電動キックボードなどが自由に走行している状況を見る。自転車に対しての制限がある一方で電動キックボードなどには認められることの線引きが不明瞭で疑問に感じる。将来ビジョンで新たな移動手段の検討等により自転車利用の適正化を図るとあるが、具体的にどのようなものを指すのか。	新たな移動手段に関しては、放置自転車対策として個人所有の自転車を減らすことをめざしている。具体的には、電動キックボードのほか、シェアサイクルやオンデマンドバスといったものが含まれる。自転車に限らず、これらの新たな移動手段を活用することで、駐輪場の限られたスペースや目的地からの距離による駐輪の不便さを解消することを想定している。区としては、これらの新たな移動手段の活用を促進するための広報や周知活動を進めていく。	当区実施のシェアサイクル実証実験の効果検証やシェアサイクル等を利活用したまちづくりを整理し、公共性の高いシェアサイクル等の望ましい活用方法を取りまとめるため検討を開始した。	①
8	勝委員	地域課	菅北地域は繁華街として知られ、ポイ捨て等が多くが街が綺麗ではない。また、酔っ払いが多く、治安は良いとは言えない。飲食店の増加に伴い、軽犯罪の発生も多くなっている現状である。住民としてどのように対策を講じるべきか、また、どのような方法があるのか伺いたい。また、パトロールなどを実施してもらえないのか。	区役所では地域の協力を得ながらパトロールを行っている。昨年からの対策として、駅前などで朝の清掃活動を駅に協力を要請して実施してもらっているが、通学路全般での対応は難しい。 また、声掛け事案などについては、区役所のSNSで頻繁に発信している。引き続き警察との情報共有を行い、一緒に対策を考えていきたい。警察への相談を早急に行い、情報共有を進める。	12月3日に地域・警察・区役所で事例の共有や今後の取組みについて話し合いを行った。 ・通常午後には実施している青色防犯パトロール車での見守り活動コースに天満駅界隈を追加して活動する。 ・地域での見回り時には警察官の同行巡回(最寄り交番)を依頼する。 ・校区である小・中学校、警察、区役所での情報共有を進める。 12月27日に地域、企業と行政(警察・大阪市(消防局・建設局・環境局・区役所))が一体となり、当該地域内の路上看板や客席等マナー向上に向けた啓発・清掃・見守り活動を実施した。	①
9	栗原委員	1	高校無償化についてのニュースをよく耳にする。中学3年生までは義務教育であり、全員に給食が無料で提供されることは非常にありがたいと感じている。高校無償化についても、多くの人が高校に進学していることを考えると良い制度であると感じる一方で、中学卒業後に働く人に対しても支援につながる施策が必要と感じる。	答弁なし。	—	⑤
16	島村委員	福祉課	子育て施策については、「北区将来ビジョン2025～3034(素案)」にも記載されているとおり、各発達段階における相談体制や広報の充実等についてお願いしたい。	第3期地域福祉計画では子育て支援を非常に重要と位置づけ、取り組みを強化していく。特に、乳幼児から学童に至るまでの健康分野と児童福祉との連携を強化する方針である。今年4月から北区の福祉課にて「こども家庭センター」を設置し、担当の係長と担当者2名を配置するとともに、健康課の保健師と福祉課の子育て専門スタッフが連携する体制を整えている。このセンターはまだ初期段階であり、皆様の意見を反映させながら成長させていきたいと考えている。	同左	②

※ 分類 ①当年度(6年度)において対応 ②7年度運営方針に反映または7年度に対応予定
③6年度・7年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可 ⑤その他